

工 事 名		令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事												
施 工 箇 所		安曇野市 豊科身体障害者会館											金抜設計書	
設 計 概 要							施 工 方 法			請 負				
豊科身体障害者会館のエアコン設置工事 ・エアコン2セットの設置工事とそれに伴う電気、機械設備工事一式。 ・エアコン設置に伴う断熱強化工事 (内窓の設置、天井へのグラスウール敷込)							施 工 期 間			契約日～令和7年3月18日				
							担当課			障がい者支援課 障がい福祉担当				
							工事担当課			財産管理課 施設経営担当				
							契約保証方法			金銭的保証				
							・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							

令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事



556

豊科中央児童館

会福祉協議会豊科支所  
豊科老人福祉センター

工事場所

とよしな  
いこの里

556.8

豊科ささえあいセンタ

豊科弓道場

557.1

557

豊科高等学校

0 10 20 30m  
1:1000

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事						
	内 訳 書						
	A 共通仮設費		式	1.0			
	B 直接工事費		式	1.0			
	純工事費計						
	現場管理費		式	1.0			
	工事原価						
	一般管理費等		式	1.0			
	工事価格						
	消費税相当額		式	1.0			10%
	設計工事費合計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	A 共通仮設費						
	i 率仮設						
	準 備 費	┐					
	仮 設 物 費						
	電力用水光熱費						
	工 事 施 設 費						
	環 境 安 全 費	└───	式	1.0			
	機 械 器 具 費						
	屋外整理清掃費						
	その他 試験調査費等	┘					
	VOC化学物質濃度測定（施工前・後測定）	パツジツ法(拡散法) 6物質(ホルムアルデヒド、トル エン、エチルベンゼン、キシレン、パラジクロロベンゼン、スチ	回	2.0			
	計						



[illegible]

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1-1	直接仮設費						
	脚立足場	並列2ヶ月	m2	67.5			
	養生費	内部床 部分養生	m2	123			
	清掃・片付		m2	123			
	合 計						
1-2	冷暖房設備工事						
	ACP-1 ハウジングエアコン	グリーン購入法適合機種 寒冷地仕様	組	2.0			
		天井カセット型2方向吹出					
		冷房能力：5.6 (0.9～5.9)kw					
		暖房能力：6.7 (0.9～9.8)kw					
		ワイヤレスリモコン他附属品一式					
		電 源：単相200V 60Hz					
		屋外機平置き架台H=300 防振ゴムキット					
		防振架台設置共					
	機器据付費		式	1.0			
	機器搬入費		式	1.0			
	総合調整費		式	1.0			
	室外機基礎		箇所	2.0			
	小計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	冷媒用被覆銅管	屋内一般（隠蔽） φ6.35 保温厚10mm	m	14.0			
	冷媒用被覆銅管	屋内一般（隠蔽） φ12.70 保温厚20mm	m	14.0			
	冷媒用被覆銅管	屋外架空（露出） φ6.35 保温厚10mm	m	9.0			
	冷媒用被覆銅管	屋外架空（露出） φ12.70 保温厚20mm	m	9.0			
	ドレン用硬質塩化ビニル管	屋内一般（隠蔽） VP20V	m	3.0			
	ドレン用硬質塩化ビニル管	屋内一般（隠蔽） VP25V	m	12.0			
	ドレン用硬質塩化ビニル管 カラパイプ	屋外架空（露出） VP25V	m	8.0			
	保温工事	屋内隠蔽 c・(口)・Ⅶ 20	m	3.0			
	保温工事	屋内隠蔽 c・(口)・Ⅶ 25	m	12.0			
	保温工事	屋外露出 冷媒フッキング SUS	m	9.0			
	ハウジングエアコン用内機電源線・伝送線	EM-EEF2.0mm-3C	m	23.0			
	ハウジングエアコン用内機アース線	EM-IE2.0mm	m	23.0			
	小計						
	合 計						



番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1-3	換気設備工事						
	FV-1 ダクト用換気扇	低騒音形 インテリア格子タイプ	台	3.0			
		ダクト径：φ100					
		風 量：175m3/h					
		電 源：単相100V 60Hz					
		コントロールスイッチ					
		ステンレス製丸形フード・ギャリ付					
	FV-2 ダクト用換気扇	低騒音形 人感センサー付 24時間換気機能付	台	2.0			
		ダクト径：φ100					
		風 量：112m3/h 強					
		24時間換気：55m3/h 弱					
		電 源：単相100V 60Hz					
		24時間換気用コントロールスイッチ 強弱タイプ					
		ステンレス製丸形フード・ギャリ付					
	FP-1 パイプ用ファン	角格子タイプ 電気シャッター付	式	1.0			
		接続パイプ径：φ100					
		風 量：66m3/h 強					
		電 源：単相100V 60Hz					
		コントロールスイッチ					
		ステンレス製丸形フード・ギャリ付					
	機器据付費		式	1.0			
	総合調整費	冷暖房設備に含む					
	換気ダクト						
	スパイラルダクト	φ100	m	7.0			
	保温工事	屋内隠蔽 N・(□)・XI 100	m	5.0			
	合 計						

[illegible]



番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2-1	幹線・空調機電源設備工事						
	ケーブル	EM-CET22（隠蔽）0.8kg/m	m	32.0			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3CG（隠蔽）1.6kg/m	m	35.0			
	電線管	HIVE360.6kg/m	m	8.0			
	プルボックス	VE150-150WP	個	1.0			
	引込開閉器盤	BOP7134VW	面	1.0			
	引込開閉器	BCWA360	個	1.0			
	非常警報設備	BG7023HK	台	1.0			
	分電盤	BQRD36182	面	1.0			
	分電盤開閉器	BCWA3501	個	1.0			
	漏電火災警報器	EF-5N100A	個	2.0			
	空調機電源接続費		箇所	1.0			
	既設分電盤撤去		台	1.0			
	既設引込開閉器盤撤去		台	1.0			
	既設非常警報撤去		台	1.0			
	産業廃棄物運搬費	混合物屑 機械設備に含む					
	産業廃棄物処分費	混合物屑0.1 t	m3	0.2			
	電力会社申請手続費		式	1.0			
	合 計						

[illegible]



番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
3-1	内装工事						
	天井クロス 張替	撤去費	m <sup>2</sup>	39.8			
		クロス貼り	m <sup>2</sup>	39.8			
	壁クロス 張替（会議室）	撤去費	m <sup>2</sup>	66			
		クロス貼り	m <sup>2</sup>	66			
	洗面所・トイレ天井 再塗装	下地調整 RC種	m <sup>2</sup>	17.4			
		EP B種	m <sup>2</sup>	17.4			
	会議室天井断熱材敷込	GW24K t200	m <sup>2</sup>	73.0			
	内部天井点検口	アルミ製 450*450	箇所	1.0			
	同上開口補強 19形	ボルト切込み共	箇所	1.0			
	産業廃棄物運搬費 2t3tダンプ者	混合物屑 機械設備に含む					
	産業廃棄物処分費	混合物屑 39.8+65.8=105.6m <sup>3</sup> ÷0.53t/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.5			
	合 計						

[illegible]



# 現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称） : 令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事
2. 工事場所 : 安曇野市 豊科身体障害者会館
3. 工事概要 : ・エアコン2セットの設置工事とそれに伴う電気、機械設備工事一式。  
・エアコン設置に伴う断熱強化工事（内窓の設置、天井へのグラスウール敷込）
4. 工 期 : 契約日から 令和7年3月18日まで

## 5. 一般事項について

### (1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

### (2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

### (3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

### (4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

## 6. 本工事における特記事項

### (1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

### (2) 本工事は、「週休2日工事実施要領」および「長野県建築工事における週休2日工事実施要領」発注者指定型、通期の週休2日工事の対象である。

なお、週休2日の取組実績に応じて、単価の補正を行い、設計変更を行うものとする。

（工事発注時は4週8休を想定した設計単価で積算している）

### (3) 周辺住民の安全、騒音等に十分配慮すること。近隣への事前通達のうえ施工すること。

- (4) 感染症対策は十分に講じること。
- (5) 各官公庁手続きについて、  
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。
- (6) 施設運営への配慮事項
- ① 打合せの上、騒音等に配慮し施設運営に支障がないよう努めること。
  - ② 施設職員の移動動線には十分注意すること。搬入路、仮設足場等は事前に、  
監理者・監督員および施設管理者の承諾を得たのちに施工すること。

(7) 残土関係

~~・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、  
運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

~~・建設発生土~~

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

(8) 施工可能期間について

工事場所での施工可能期間は下記のとおりとする。これ以外の期間での施工は不可。

※現場調査等は可とする。

施工可能期間：令和7年1月20日（月）～令和7年2月28日（金）

※上期間内に VOC 検査、ならびに発注者の使用開始前検査を受検し合格していること。

7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

8. 安全対策関係

(1) 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

(2) 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予

期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

#### 9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

#### 10. その他

##### ア 火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

##### イ 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、下記の「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA 4 版とする。

## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約

・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合

・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

### 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

## 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

## 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

## 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有す

る足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。
  - ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
  - ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
  - ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
  - ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
  - ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
  - ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
  - ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。
- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### ~~13. セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

#### 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。工事発注前に市で実施したアスベスト調査資料については、受注者へ資料提供を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

#### 15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- ~~(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するように努めること。~~
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### 18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

#### 19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

#### 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

#### 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

#### 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用するができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

#### 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。







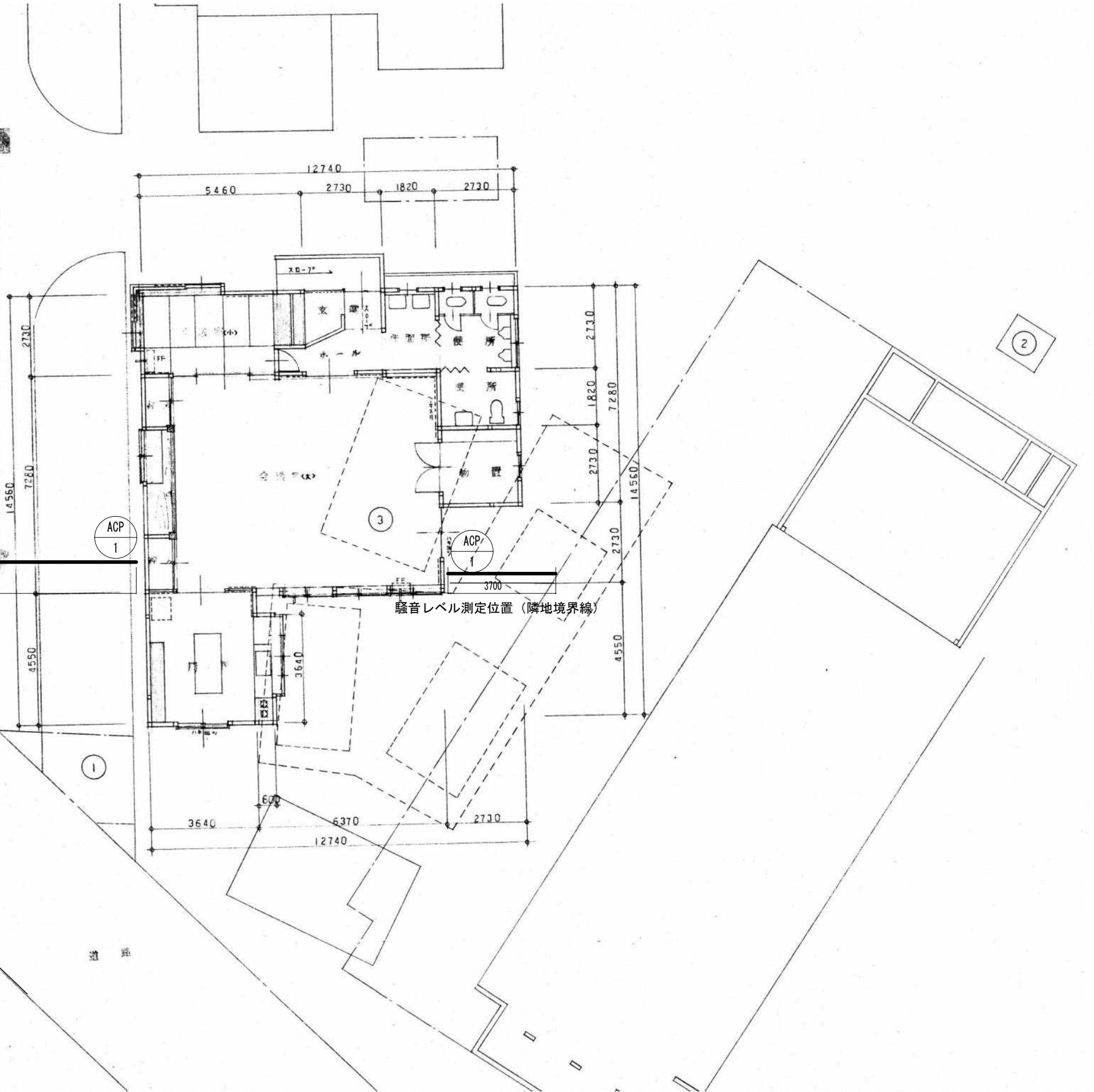


騒音レベル測定位置（隣地境界線）

附近見取図

面積表		
建築面積	138.82	42坪
床面積	138.82	

- ① 花壇撤去
- ② 焼却炉新設 枠角
- ③ プレハブ作業場移設 解体
- 4



PR NAME 令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事



DW NAME 配置図・案内図・騒音レベル計測位置図



DATA 20240701



SCALE



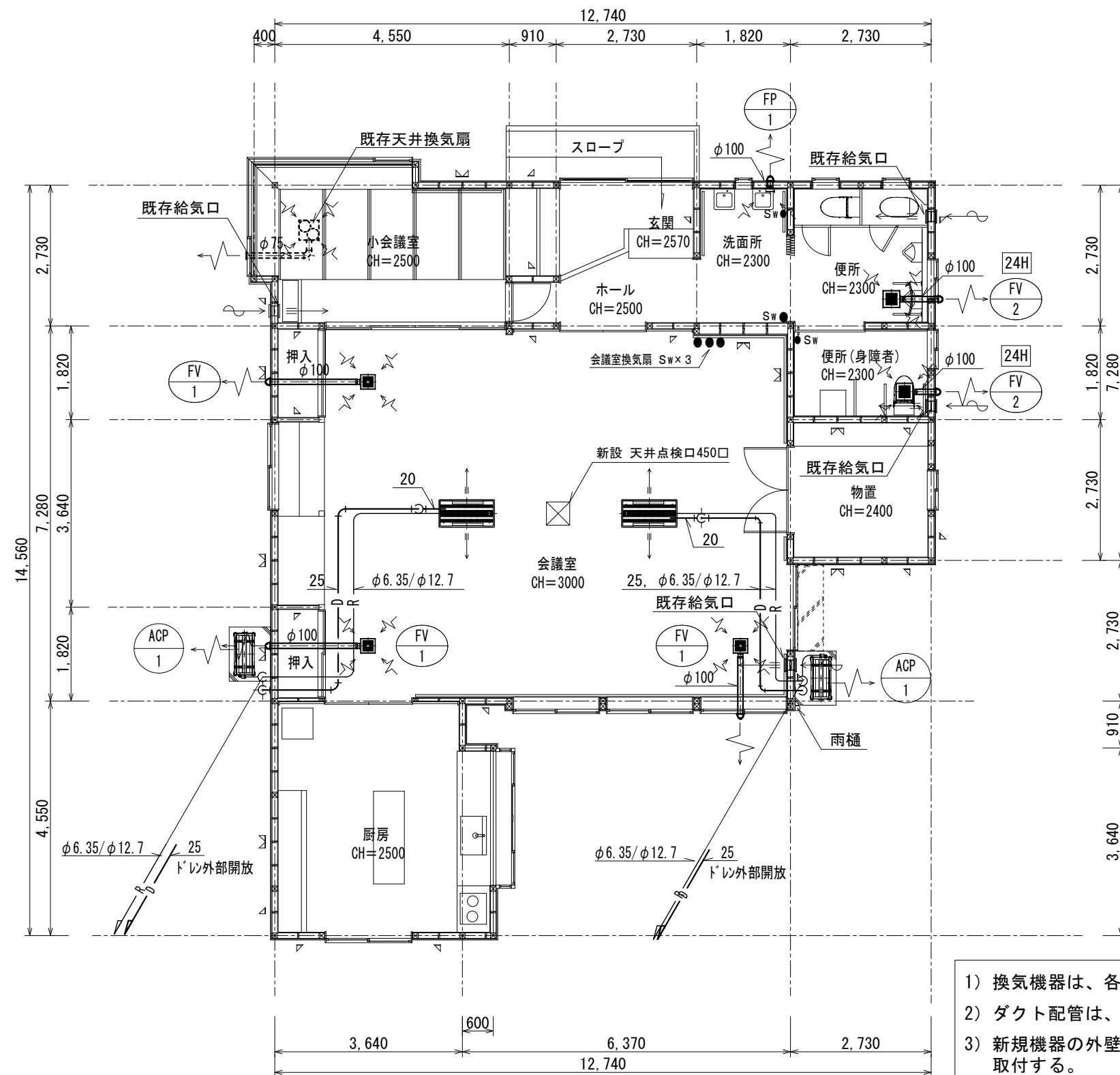
DW NO. M-03

冷暖房機器表

記 号	名 称	設置場所	数量	品 番 仕 様	電 源			備 考
		室 名			相(φ)	電圧(V)	電力(kw)	
ACP-1	ハウジングエアコン	会議室	2	寒冷地仕様 2方向天井カセット形	1	200	冷：1.83	コンクリート基礎 1,050×800×500H
				冷房能力：5.6(0.9~5.9)kw 暖房能力：6.7(0.9~9.8)kw			暖：1.93	
				リモコン				参考品番：(三菱)室内機：MLZ-HW5622AS
				室外機オプション：室外機保護カバー（背面・側面）				
								参考品番：(日晴)融亜鉛メッキ仕上り平地置架台：C-NZJ-2
								(日晴)防振ゴムキット：CE-VG

換気機器表

記 号	名 称	設置場所	数量	品 番 仕 様	電 源			備 考
		室 名			相(φ)	電圧(V)	電力(w)	
FV-1	ダクト用換気扇	会議室	3	天井埋込形 低騒音形 インテリア格子タイプ	1	100	22.5	参考品番：(三菱)VD-15ZXP <sub>14</sub> -C
				ダクト径：φ100 風量：175m <sup>3</sup> /h ×パイプ長さ10m時				
				コントロールスイッチ、丸型フード(ステンレス製・ギャラリ付)				
FV-2	ダクト用換気扇	便所 便所(身障者)	2	天井埋込形 人感センサー付 低騒音形 24時間換気機能付	1	100	強：20	参考品番：(三菱)VD-13ZALC <sub>14</sub>
				ダクト径：φ100 風量(強)：112m <sup>3</sup> /h 24時間換(弱)：55m <sup>3</sup> /h ×パイプ長さ10m時			弱：6.7	
				コントロールスイッチ、丸型フード(ステンレス製・ギャラリ付)				
FP-1	パイプ用ファン	洗面所	1	角形格子グリル	1	100	4.6	参考品番：(三菱)V-08PS <sub>B</sub>
				接続パイプ：φ100 風量：66m <sup>3</sup> /h×パイプ長さ10m時				
				電気式シャッター付(グリル内部)、丸型フード(ステンレス製・ギャラリ付)				



身障者会館 平面図 S=/100



PR NAME 令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事



DW NAME 空調設備平面図



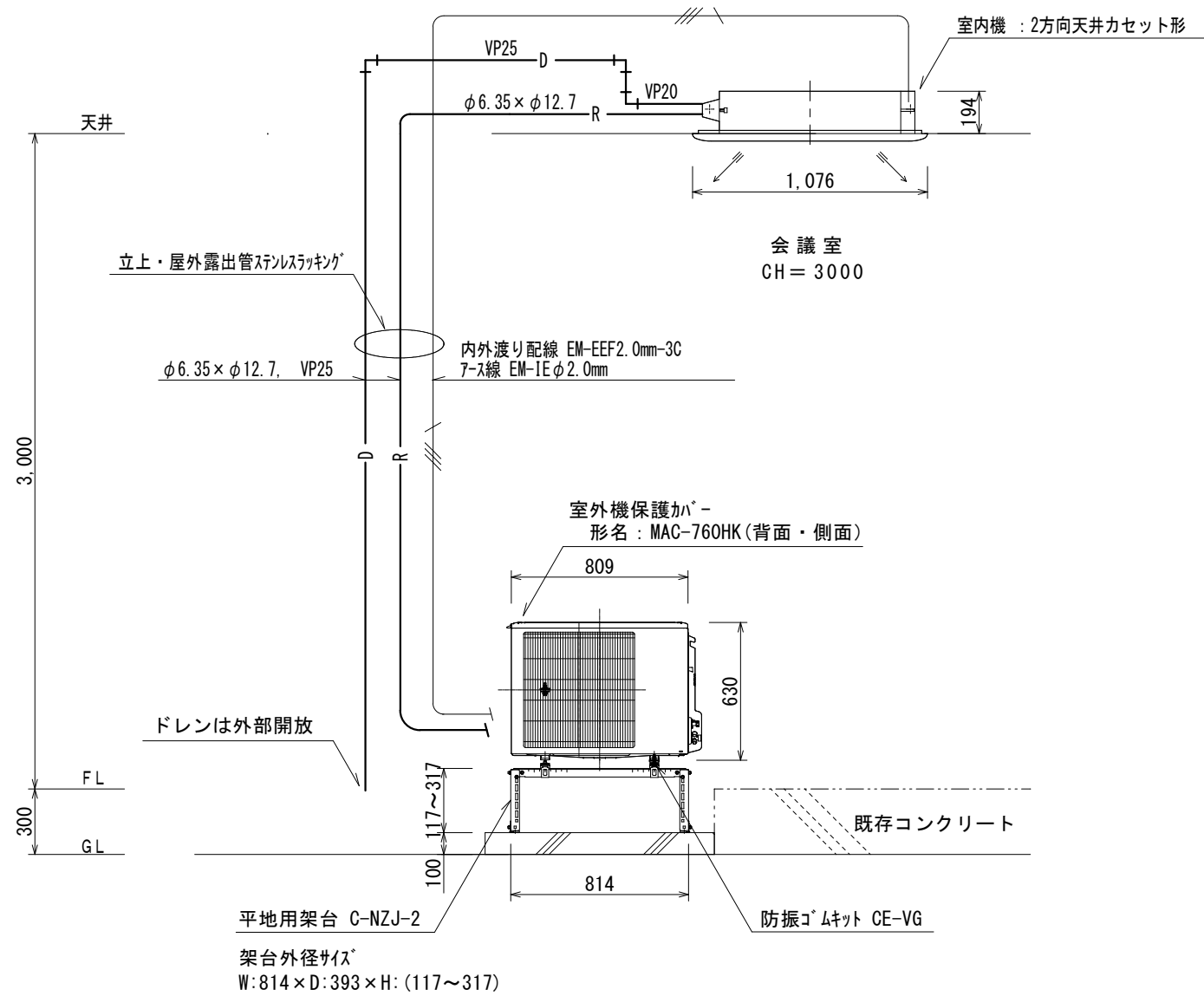
DATA 20240701



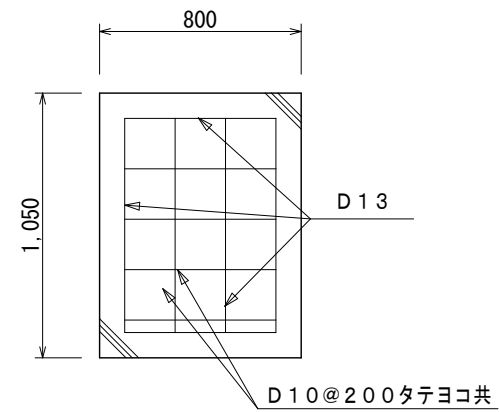
SCALE 1/100



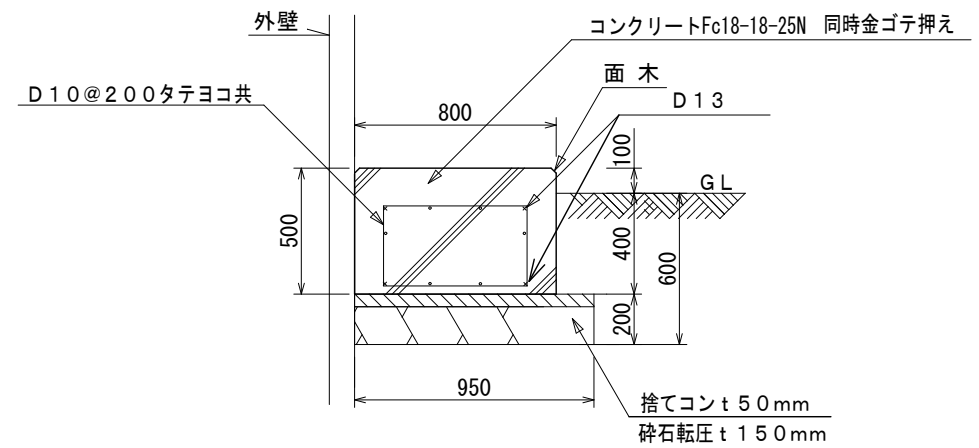
DW NO. M-05



機器廻り詳細図 S:1/30



基礎伏図



基礎断面図

室外機基礎図 S:1/30



PR NAME 令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事



DW NAME 機器廻り詳細図 ・ 室外機基礎図



DATA 20240701



SCALE 1/30



DW NO. M-06

# 電 気 設 備 工 事

## 1. 工事概要

1. 工事場所 安曇野市豊科 4027 番地 3

## 2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	間 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
豊科身体障害者会館	木造平屋建て	1	138.8	6-ロ号	

3. 工 事 種 目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外			
		○	-	-	
電 灯 設 備	幹線、分岐	○	-	-	
動 力 設 備	幹線、分岐	-	-	-	
電 熱 設 備		-	-	-	
雷 保 護 設 備		-	-	-	
受 変 電 設 備		-	-	-	
停 止 形 電 源 設 備	直流電源装置	-	-	-	
発 電 設 備		-	-	-	
構内情報通信網設備	LAN用配管	-	-	-	
構 内 交 換 設 備	電話設備	-	-	-	
情 報 表 示 設 備	時計設備	-	-	-	
映 像 ・ 音 響 設 備		-	-	-	
拡 声 設 備		-	-	-	
誘 導 支 援 設 備	インターホン・トイレ呼出し設備	-	-	-	
テレビ共同受信設備		-	-	-	
監 視 カ メ ラ 設 備		-	-	-	
駐 車 場 管 制 設 備		-	-	-	
防 犯 ・ 入 退 室 管 理 設 備	予備配管	-	-	-	
自 動 火 災 報 知 設 備		-	-	-	
自 動 閉 鎖 設 備		-	-	-	
非 常 警 報 設 備	非常放送装置	○	-	-	
ガ ス 漏 れ 警 報 設 備		-	-	-	
中 央 監 視 制 御 設 備		-	-	-	
構 内 配 電 線 路		-	-	-	
構 内 通 信 線 路		-	-	-	
昇 降 機 設 備		-	-	-	

#### 4. 図面目録

番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
1	電気設備特記仕様書	21	
2	幹線設備・空調機電源設備図	22	
3	既設照明器具位置図	23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

## Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管理課の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。))及び「公共建築設備工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準」という。)による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

## 2. 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項						
1 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものである。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。						
2 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。						
3 化学物質を発散する 建 築 材 料 等	<p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。</p> <p>(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(2) 保温材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(3) 接着剤はフタル酸ジエーサー及びフタル酸ジエーサーエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(5) 上記(1)・(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。</p> <p>ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。</p> <p>また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該 当 す る 建 築 材 料</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規 制 対 象 外</td><td> <p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③下記表示のあるJAS規格品</p> <p>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</p> <p>b 接着剤等不使用</p> <p>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</p> <p>d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> </td></tr> <tr> <td>第 三 種</td><td> <p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>③IBJISのE○規格品</p> <p>④IBJISのF○規格品</p> </td></tr> </tbody> </table>	ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料	規 制 対 象 外	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③下記表示のあるJAS規格品</p> <p>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</p> <p>b 接着剤等不使用</p> <p>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</p> <p>d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p>	第 三 種	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>③IBJISのE○規格品</p> <p>④IBJISのF○規格品</p>
ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料						
規 制 対 象 外	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③下記表示のあるJAS規格品</p> <p>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</p> <p>b 接着剤等不使用</p> <p>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</p> <p>d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p> <p>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p> <p>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</p>						
第 三 種	<p>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</p> <p>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>③IBJISのE○規格品</p> <p>④IBJISのF○規格品</p>						
4 電 気 保 安 技 術 者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。						
5 電 気 工 事 士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。						
6 実 施 工 程 表 及 び 施 工 計 画 書	<p>(1) 実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。</p> <p>(2) 工種別別施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。</p>						
7 使用材料発先調査	使用材料名、製造業者名、発先号等を記載した調査を作成し提出する。						
8 発 生 材 の 処 理	<p>(1) 引渡しを要するもの ・ 無 ・ 有 ( )</p> <p>(2) 引渡しを要するもの以外 ・ 機外搬出し、関係法令により適切に処理をする。</p> <p>(3) 特別管理産業廃棄物 ・ 無 ・ 有 ( )</p> <p>(4) 再利用又は再資源化を図るもの</p> <p>・ 無 ・ 有 ( ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類 )</p>						
9 監 督 員 事 務 所	<p>・ 設けない ・ 設ける (規模: )</p> <p>・ 備品 ( )</p>						
10 工 事 用 仮 設 物	すべて請負者の負担とする。						
11 足 場 ・ さん 横 桟	<p>構内に行うことが ・ できる ・ できない</p> <p>・ 別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用する。</p> <p>・ 本工事で設置する。</p> <p>・ 内部仮設足場等 ( ・ 架台足場 ・ 移動式足場 ○ 移動式室内足場 ・ )</p> <p>・ 外部仮設足場等 ( ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ) ・ 防護シート ( )</p>						
12 工 事 用 電 力 ・ 水 ・ その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。						
13 工 事 写 真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。						
14 しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。						
15 再 使 用 機 器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。						
⑩ 耐 震 施 工	<p>ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。</p> <p>設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。</p> <p>(1) 設計用水平地震力</p> <p>機器の重量 [ k g f ] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。</p> <p>なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。</p>						

項 目	特 記 事 項				
	設計用標準水平地震加速度				
	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設
			重要機器	一般機器	重要機器 一般機器
	上層階、	機 器	2.0	1.5	1.5 1.0
		防振支持の機器	2.0	2.0	2.0 1.5
	屋上及び塔屋	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5 1.0
		機 器	1.5	1.0	1.0 0.6
	中 間 階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5 1.0
		水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0 0.6
		機 器	1.0	0.6	0.6 0.4
	地下・1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0 0.6
		水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0 0.6
	（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。				
	◎重要機器の定義は次による。				
	・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置				
	・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置				
	◎上層階の定義は次による。				
	2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、				
	10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。				
	(2) 設計用鉛直地震力				
	設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。				
17	あと施工アンカー	(1) 重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）8章の2第2.8.2.4及び11節による。			
		(2) 上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。			
		（引抜き試験を ・ 実施する ・ 実施しない）			
18	防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。			
19	電線・ケーブル	(1) EM-EFF は架外線による劣化を防止する性能を持たせ、'Naga'イロ EM-EFF」と表記されたものを使用する。			
		(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格による EM-ケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。			
20	予 備 配 管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配管用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以内の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。			
21	呼 び 線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。			
22	金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。			
		・屋 外 ・屋 内（ ）			
23	埋 め 戻 し 土	・種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種			
		・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める			
24	建設発土土の処理	・増外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し			
25	ケーブル埋設票	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。			
		・鉄製 ・コンクリート製			
		(2) 低圧地中配線にあっても地中線路設標識シートを敷設する。			
		(3) 配管埋設深が750mmを超える場合は、地中線路設標識シートは2条以上敷設する。			
26	ブルボックス	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。			
		(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。			
27	フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ・金属製 ・樹脂製			
28	プレートの用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略稱をつける。			
29	配 線 器 具	タンブラスイッチは連用形とする。			
		壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。			
30	フロアコンセント	・直付（ビス止め）型上下式（銅合金製 ・アルミ製）とする			
		・直付（ビス止め）型垂直上下式（銅合金製）とする			
31	機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。			
32	照 度 測 定	(1) 非常用照明の照度測定は設置後速やかに、監督職員に報告する。			
		(2) 学校施設における室内照度測定（測定教室： 箇所、 測定黒板面： 箇所）			
		※教室の照度は、1教室当たり机上面4か所、黒板黒面重直9か所で測定する			
33	盤 類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線絵線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。			
		(2) 端子盤には、線番表・緒表を備え付ける。			
34	グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目			
		＜資材＞ ・照明制御システム ・変圧器 ・（ ）			
		＜建設機器＞ ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器			
35	他工事又は他工種との取り扱い	工事区分表（平成 年版）による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。			
36	その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。 （長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書）			

### 3. ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)

ブロックハンドホール（寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。）

- ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
- ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。

・	ハンドホール No.－	1、500×1、500×1、500D 蓋 WPM－60A (Eマーク入)	底部 GL－1、740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.－	1、200×1、200×1、500D 蓋 WPM－60A (Eマーク入)	底部 GL－1、700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.－	1、000×1、000×1、400D 蓋 WPM－60A (Eマーク入)	底部 GL－1、600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.－	1、000×1、000×1、100D 蓋 WPM－60A (Eマーク入)	底部 GL－1、300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.－	1、000×1、000× 900D 蓋 WPM－60A (Eマーク入)	底部 GL－1、060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.－	900× 900×1、100D 蓋 WPM－60A (Eマーク入)	底部 GL－1、260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.－	900× 900× 900D 蓋 WPM－60A (Eマーク入)	底部 GL－1、060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No.－	600× 600× 680D 蓋 WPM－60A (Eマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No.－	450× 450× 680D 蓋 WPM－45B (Eマーク入)	※植栽等車庫等の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

#### 4. 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A 種 接 地	銅板 1.5×900×900 リード端子付 堀南渠堤中心深さ	補助接地棒 (連結10φ×1,500) 2m 増設棒 (真鍮製又はステンレス製)
・	B 種 接 地	銅板 1.5×600×600 リード端子付 堀南渠堤中心深さ	補助接地棒 (連結10φ×1,500) 2m 増設棒 (真鍮製又はステンレス製)
・	C 種 接 地	銅板 1.5×300×300 リード端子付 堀南渠堤中心深さ	補助接地棒 (連結10φ×1,500) 2m 増設棒 (真鍮製又はステンレス製)
・	D 種 接 地	接地棒 (10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み 増設棒 (真鍮製又はステンレス製)

## 5. 機器取付高

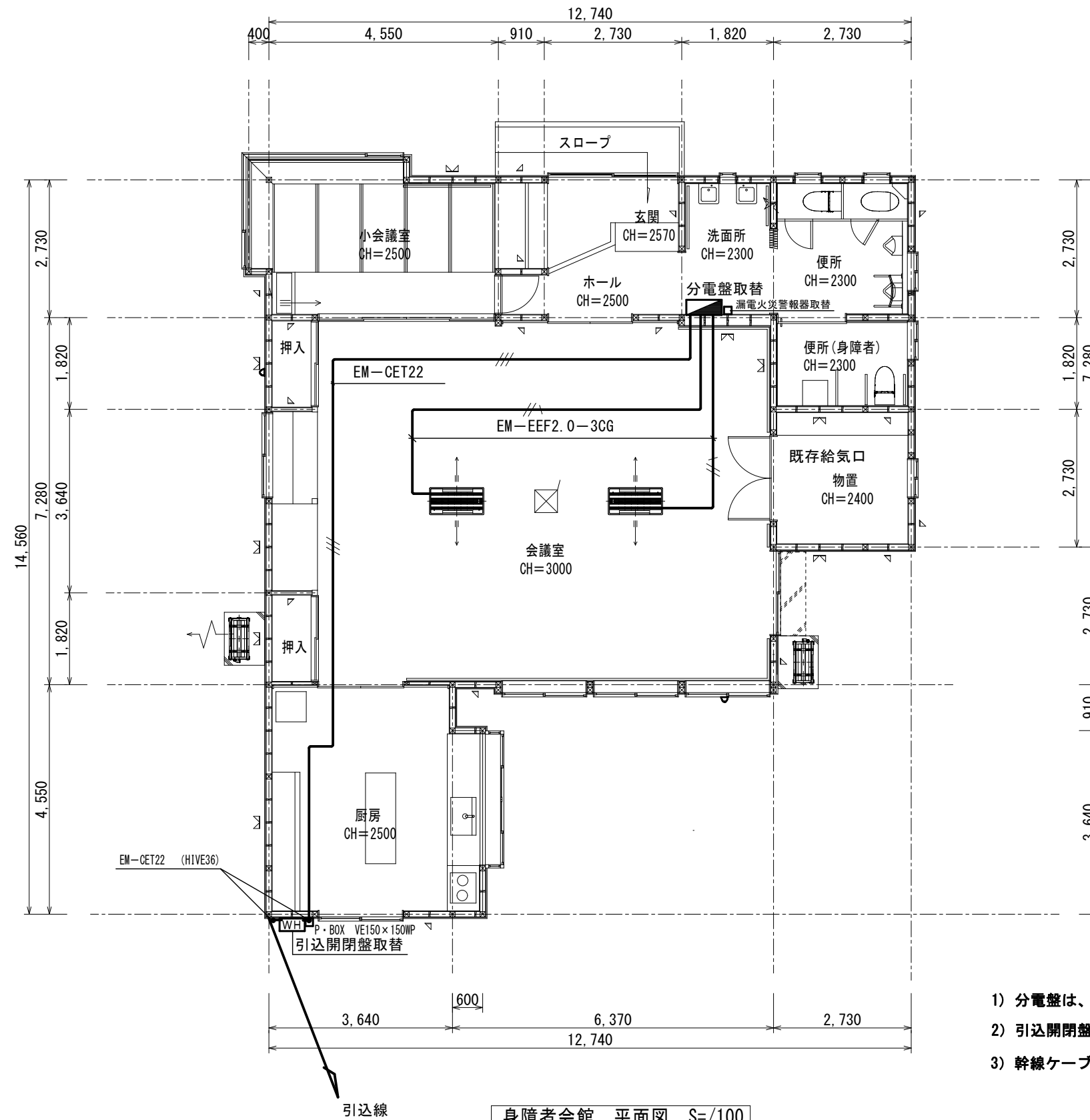
図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)		
共 通	取 引 開 閉 器	地上～上端	2,000	時 計・振 鈴	壁 掛 形 親 時 計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)		
	引 込 開 閉 器	床上～上端	1,800		子 時 計	〃	〃 (天井高)×0.9		
	警 報 機 盤	床上～中心	1,500		壁掛形スピーカ	〃	〃 (天井高)×0.9		
	分 電 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)		アッテネーター	〃	1,300		
電 灯	タンブラスイッチ	〃	1,300	表 示	表示 盤	床上～中心	(天井高)×0.9		
	〃 (身障用)	〃	1,100		表示 発 信 器	〃	1,300		
	コンセント(一般)	〃	300		ベ ル	〃	(天井高)×0.9		
	〃 (和室)	〃	150		ブ ザ ー	〃	(天井高)×0.9		
	〃 (便所等)	〃	500		押 ボ タ ン	〃	1,300		
	〃 (台所)	台上～中心	150	〃 (身障者用押鈕)	〃	900			
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100	身 障 者 用 表 示 灯	〃	2,000			
	〃 (談話)	〃	2,500	復 帰 ボ タ ン	〃	1,800			
	〃 (鏡上)	鏡端～中心	150	インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,500		
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上		〃 (身障者用)	〃	1,100		
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	壁付位置表示用 (壁付インターホンを除く)		〃	〃			
警 報 形 制 御 盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	〃 (一般)		〃	300			
動 力	手 元 開 閉 器	〃	1,500	予 示 灯・互 回 路 設備	機 器 収 容 箱	床上～中心	(天井高)×0.9		
	操 作 ス イ ャ ッ ン ・ 押 ボ タ ン	〃	1,300		ア ウ ト レ ッ ト	〃	〃		
電 話	室 内 端 子 盤 (廊下・室内)	床上～下端	300	火 災 報 知	〃 (一般)	〃	300		
	中 間 端 子 盤 (EPS・電気室)	床上～中心	1,500		受 信 機	床上～操作部	800～1,500		
	集 合 保 安 器 箱	〃 (天井高)×0.9			副 受 信 機	〃	800～1,500		
	壁 付 ア ウ ト レ ッ ト	〃			機 器 収 容 箱	床上～中心	800～1,500		
	ボ ッ ク ス (一般)	〃	300		受 信 器	〃	800～1,500		
	〃 (和室)	〃	150		消 火 栓 表 示 灯	〃	(天井高)×0.9		
							消 火 栓 表 示 灯	〃	(天井高)×0.8

(別表) しゅん工事提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 ・ 原図（A1版 ケース入り） ・ 陽圖（A1 2つ折り製本 1部） ・ マイクロフィルム （Aパーチャカード貼付 台紙は黄色） ○ CADデータ	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録（打合せ簿、工事日誌、協議書） 9 機材の試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 発生物処理報告書 （廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図）
2 設計図 ・ マイクロフィルム （Aパーチャカード貼付 台紙は青色）	13 納入品一覧表
3 引渡書	14 官公署手続、検査書（管理者用正本、写し）
4 納入品 ・ 備品品 ・ ハンドホールフック、ジャッキ ・ 盛頓の鍵 ・	15 保金に関する資料（取扱い説明書も含む）

											工 事 名	令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事	図面名称	電気設備工事 特記仕様書	年月日	. .	図面番号	E-1
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	------------------------------	------	--------------	-----	-----	------	-----



- 1) 分電盤は、既存盤撤去して新規分電盤 (BQRD36182参考) を取付する。
- 2) 引込開閉盤は、既存盤撤去して新規引込開閉盤 (BOP7134VW参考) を取付する。
- 3) 幹線ケーブルは、既存ケーブル撤去して新規ケーブルを配線する。

身障者会館 平面図 S=/100



PR NAME 令和6年度 豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事



DW NAME 幹線設備・空調機電源設備図



DATA 20240701

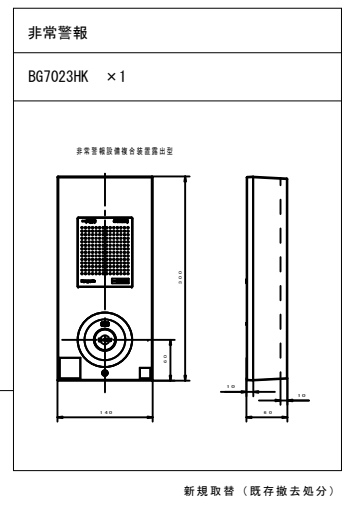
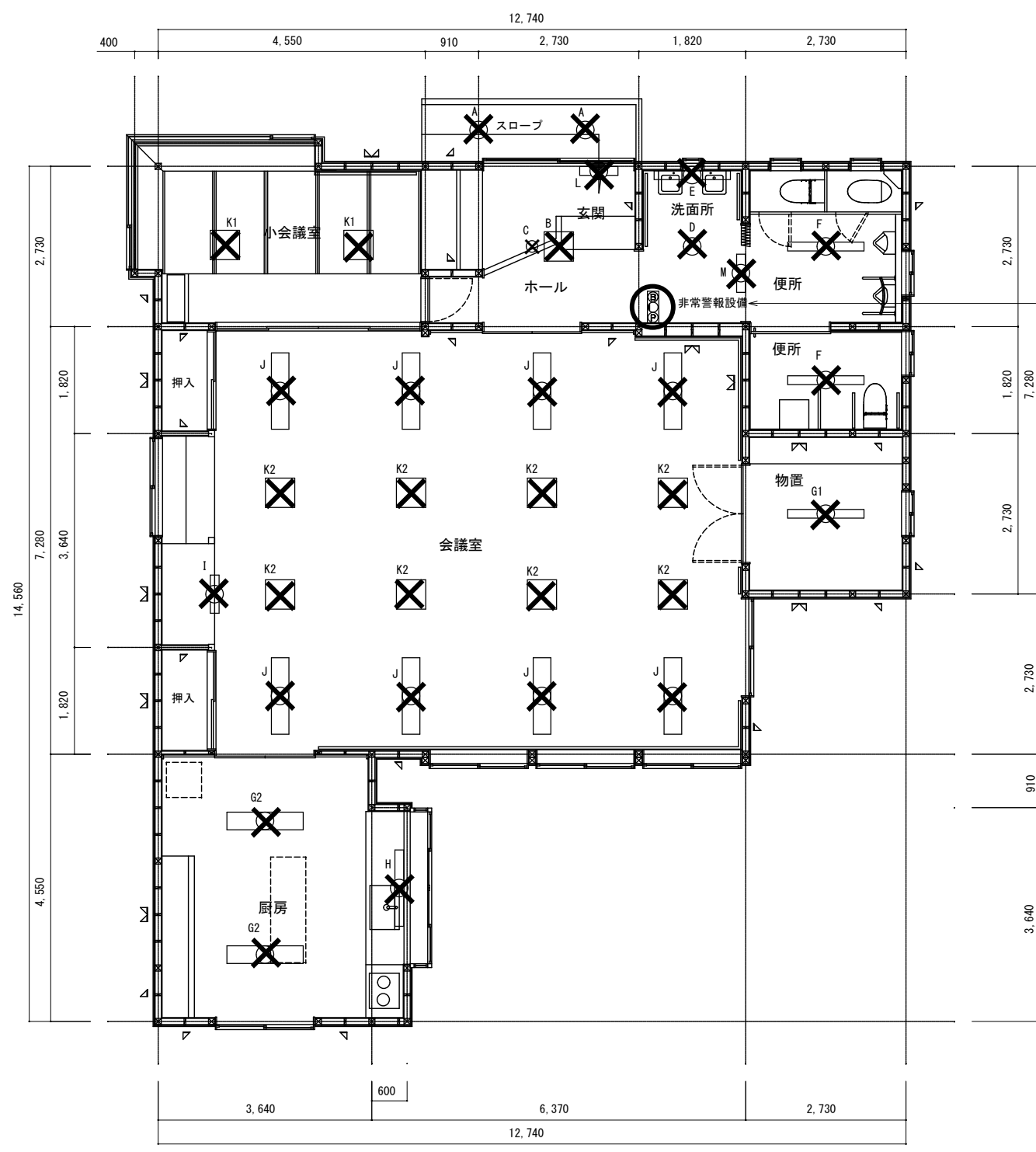


SCALE 1/100



DW NO. E-02





身障者会館 平面図 S=/100





6

内装改修工事

7. 防塵・防蟻処理

行う箇所（  
防塵処理 ※行う（※図示  
防蟻処理 ※行う（※図示  
防塵、防蟻処理の種類、品質  
表面処理用木材保存（防塵、防蟻）剤は、監督職員の承諾するものとする。  
クロリピロホスを含むものを添加しないこと。

8. 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床  
下張り用床板  
床板

9. 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類  
屋外（・19型 ※25型） 屋内（※19型 ・25型）  
既存の埋込インサート  
あと施工アンカーの引抜き試験  
※天井ふところ1.5m以上の場合※吊りボルトの精確な行う  
耐震性を考慮した精確 ※図示  
屋外軒天井及びビロティ-天井等における耐風圧性を考慮した精確 ※図示

10. 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合

11. ビニル床シート張り

種 類  
※発泡層のないもの  
・発泡層のあるもの  
工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所：)

12. ビニル床タイル張り

種 類  
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）  
・コンポジションビニル床タイル（軟質）  
・ホモジニアスビニル床タイル

13. 帯電防止床タイル張り

種 類  
・コンポジションビニル床タイル  
・ホモジニアスビニル床タイル

14. 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による  
色相は黄色を原則とする  
屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300  
・レジンコンクリート製  
屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300

15. ビニル幅木

高さ（mm）

16. 合成樹脂塗床

種 別  
・弾性ウレタン塗床材  
・エポキシ樹脂塗床材  
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級  
※規制対象外

17. フローリング張り

種 別  
※天然木化粧複合フローリング  
・単層フローリング  
ホルムアルデヒド放散量の等級  
※規制対象外

18. 畳敷き

下 地 の 種 類  
改修仕様表6.5.9による床組  
ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロ）  
畳表及び畳床は揮発性有機化合物含有量が少ないものとする

19. 張りタイル床下地材

ノンフロンのもの  
畳下地  
フローリング類

20. カーペット敷き

・織じゅうたん  
種 別  
・A種  
・B種  
・C種  
帯電性  
・タフテッドカーペット  
種 別  
・カットパイル  
・ループパイル  
・カット、ループ併用  
帯電性  
・タイルカーペット  
種 別  
※第一種  
・第二種  
・カットパイル  
・カット、ループ併用  
帯電性

21. せっこうボードその他ボード張り

種 類  
・硬質木毛セメント板  
・普通木毛セメント板  
・硬質木片セメント板  
・けい酸カルシウム板  
・ロックウール化粧吸音板  
・化粧せっこうボード  
・化粧せっこうボード（木目）  
・普通合板（難燃処理）  
・メラミン樹脂化粧板  
・ビニル樹脂化粧板  
・単板張りパーティクルボード  
・ハードボード（素地）  
・インシュレーションボード  
合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級  
※規制対象外

22. 吸音材

種 類  
・ロックウール吸音ボード1号  
・グラスウール吸音ボード32K

23. 壁紙張り

施工箇所  
天井  
壁  
素地こしらえ  
モルタル、プラスター面  
せっこうボード面  
壁紙のホルムアルデヒド放散量の等級  
※規制対象外

24. モルタル塗り材料

吸水調整材  
全固形率（%）  
表示値1.0  
均質で有害と認められる異物の混入がないこと  
防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）  
防水剤の種類  
混合割合  
セメント重量の5%以下  
膨脹性のひび割れ及びそりがないこと。JIS R5201の試験9  
既製目地材

25. 陶磁器質タイル張り

タイルの種類  
施工箇所  
形状寸法  
磁器  
タイルの目本焼き  
内装タイル  
※壁タイル接着剤張り

26. 断熱材

種 類  
・押し出法  
・保温板  
・現場発泡断熱材  
市販品

27. 浴室天井材

材 質  
※アルミニウム製  
・硬質塩ビ製

28. 天井・壁・床・床下

種 類  
・鋼製鋼骨  
・鋼製鋼骨  
・鋼製鋼骨

29. 移動式間仕切り

種 類  
・鋼板  
・鋼板  
・鋼板

30. トイレブース

種 類  
・ステンレスSUS304  
・ビニルタイル入り  
両端フラットエンド  
幅（mm）  
取付け工法

31. 階段手すり

種 別  
※集成材クリアラッカー仕上げ  
（市販品 径 約45mm）  
・ビニル製ハンドレール（幅 約50mm）

32. 黒板及びホワイトボード

種 類  
・黒板  
・ホワイトボード

33. 表示

衝突防止表示  
表示機構  
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

34. ブラインド

・既存再使用する（養生方法：  
・新設する

35. ロールスクリーン

防火性能  
施工箇所  
装 置  
性能  
備考

36. カーテン

・既存再使用する（養生方法：  
・新設する

37. カーテンレール

・既存再使用する  
・新設する  
材質  
形式

38. グランド・グランド

・既存再使用する  
・新設する  
材質  
形式

39. 天井点検口

材質

40. 床点検口

材質

41. 鋼製書架及び物品棚

種 類  
・鋼製書架  
・鋼製物品棚

42. 工 事 名

令和6年度  
豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事

43. 図面名称

改修特記仕様書（3）

44. くつふきマット

市販品 材質  
・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠）  
・ビニル製（ステンレス製受枠）  
・硬質アルミニウム製（受枠共）  
・ステンレス製（受枠共）

45. 流し台ユニット

種 類  
・流し台  
・コンロ台  
・つり戸棚  
・水切り棚

46. 屋内掲示板

枠の材質  
表面の材質

47. 洗面カウンター

材質  
奥行（mm）

48. 収納家具

材質  
形状・寸法  
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級  
※規制対象外

49. 防蟻垂れ壁

材 質  
厚さ（mm）  
高さ（mm）  
備 考  
・可動式  
種 類  
・垂直降下式（巻取り型）  
・回転降下式  
降下機構

50. 3. 合成樹脂調合ペイント塗り

新規鉄面の塗りの種類  
・A種  
・B種

51. 4. 7. 酸樹脂の塗り

新規木部の塗りの種類  
・A種  
・B種  
新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種類  
・A種  
・B種

52. 2. 液状の塗り

新規鉄面の塗りの種類  
・A種  
・B種

53. 6. 7. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

新規鋼製建具  
※B種  
新規の塗りの種類  
・A種  
・B種  
新規の塗りの種類  
・A種  
・B種  
新規の塗りの種類  
・A種  
・B種  
塗替えの場合  
既存塗膜  
合成樹脂エマルション模様塗り  
平滑な塗料塗り

54. 工 事 名

令和6年度  
豊科身体障害者会館 エアコン等設置工事

55. 図面名称

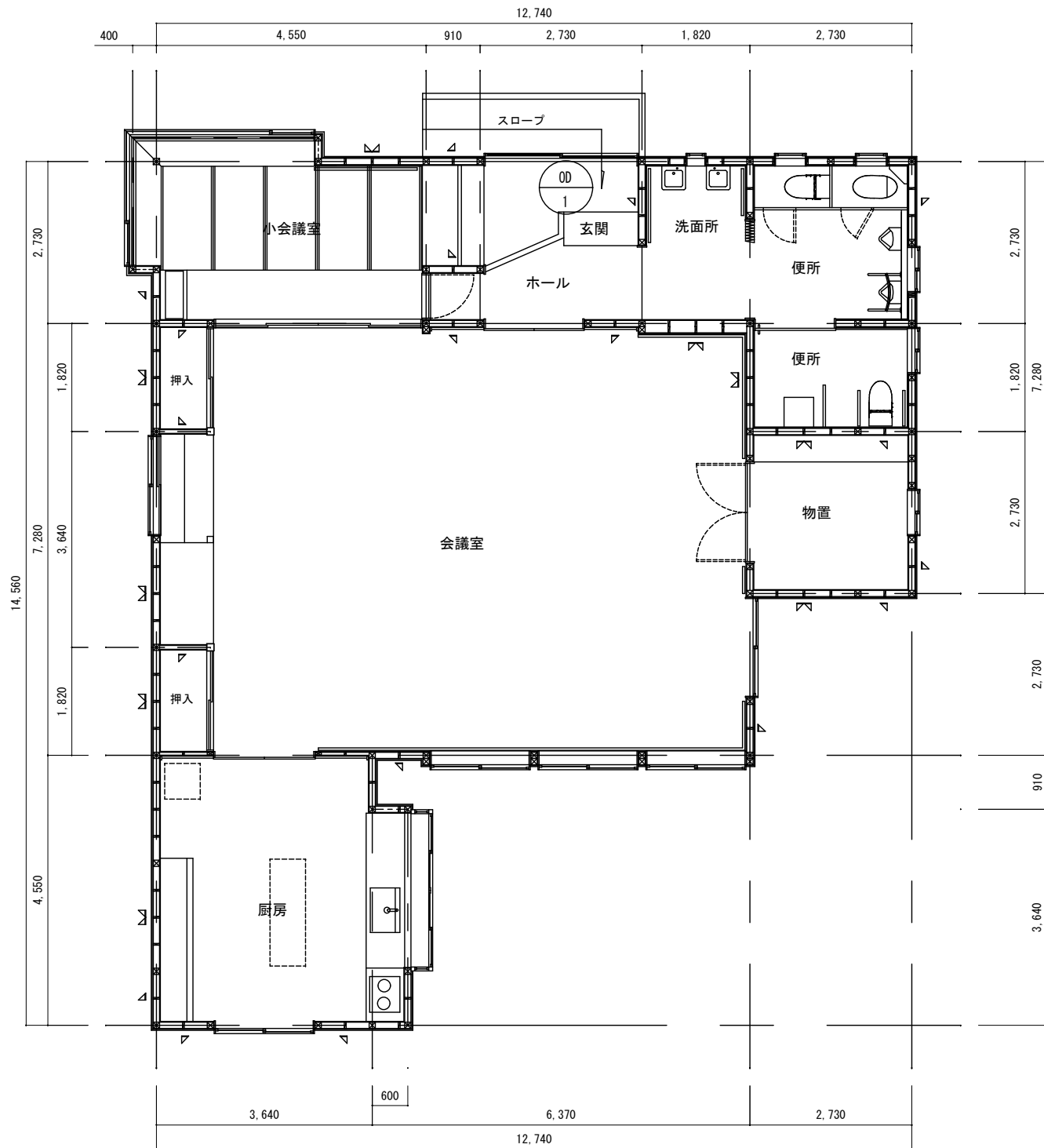
改修特記仕様書（3）

56. 検 印 欄

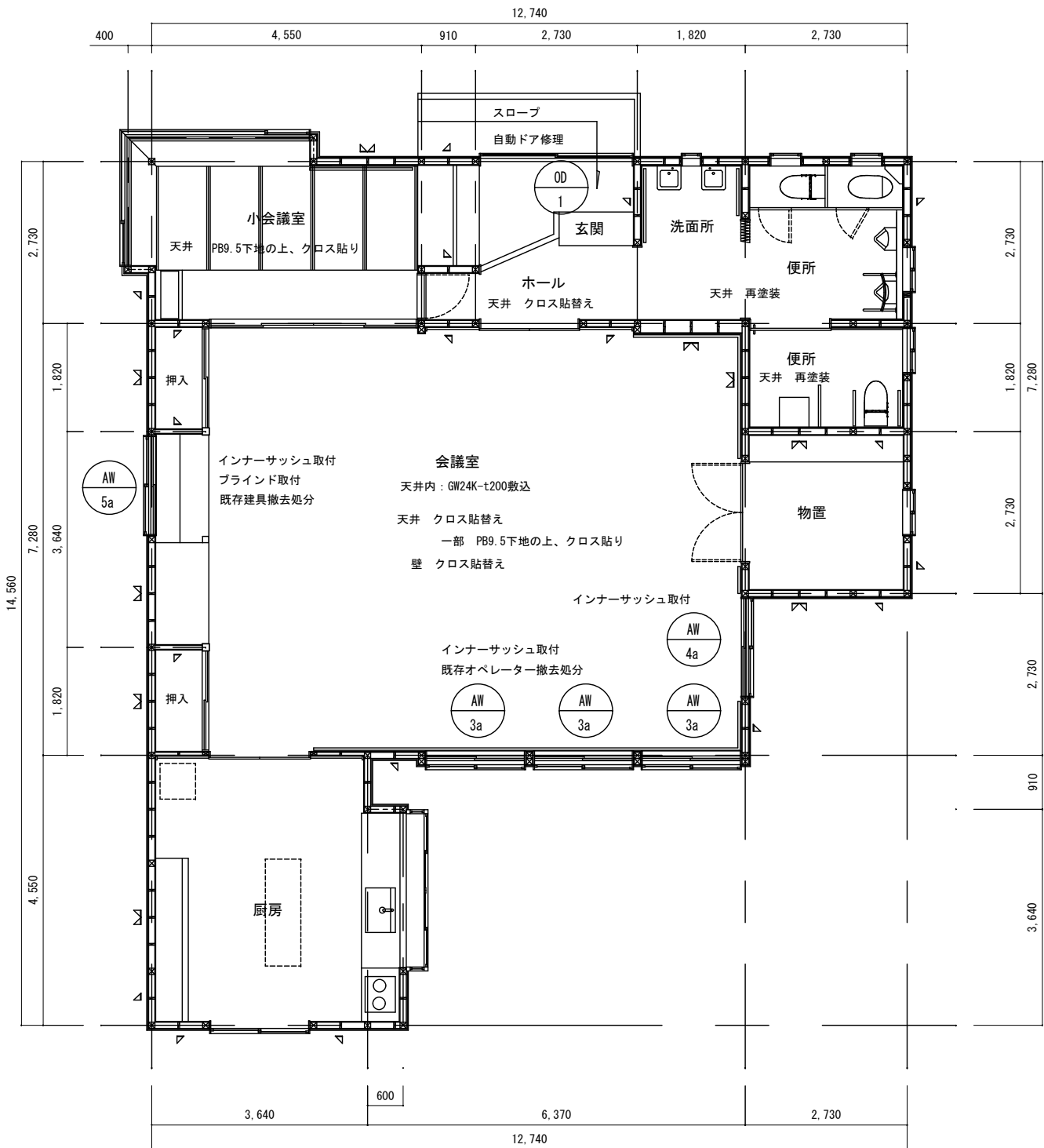
年月日  
2024・07・30  
図面番号  
A-03

2-参-46

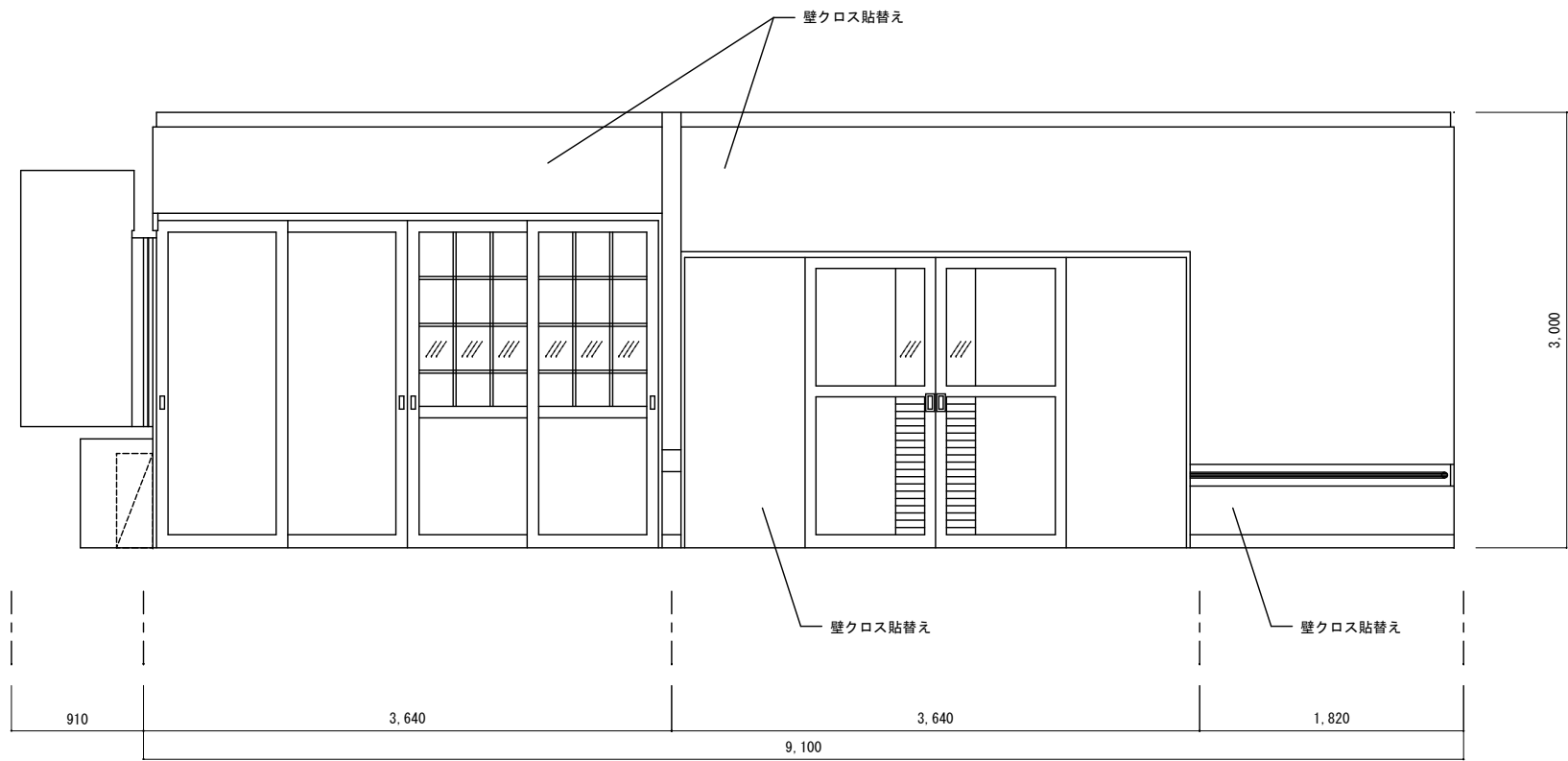




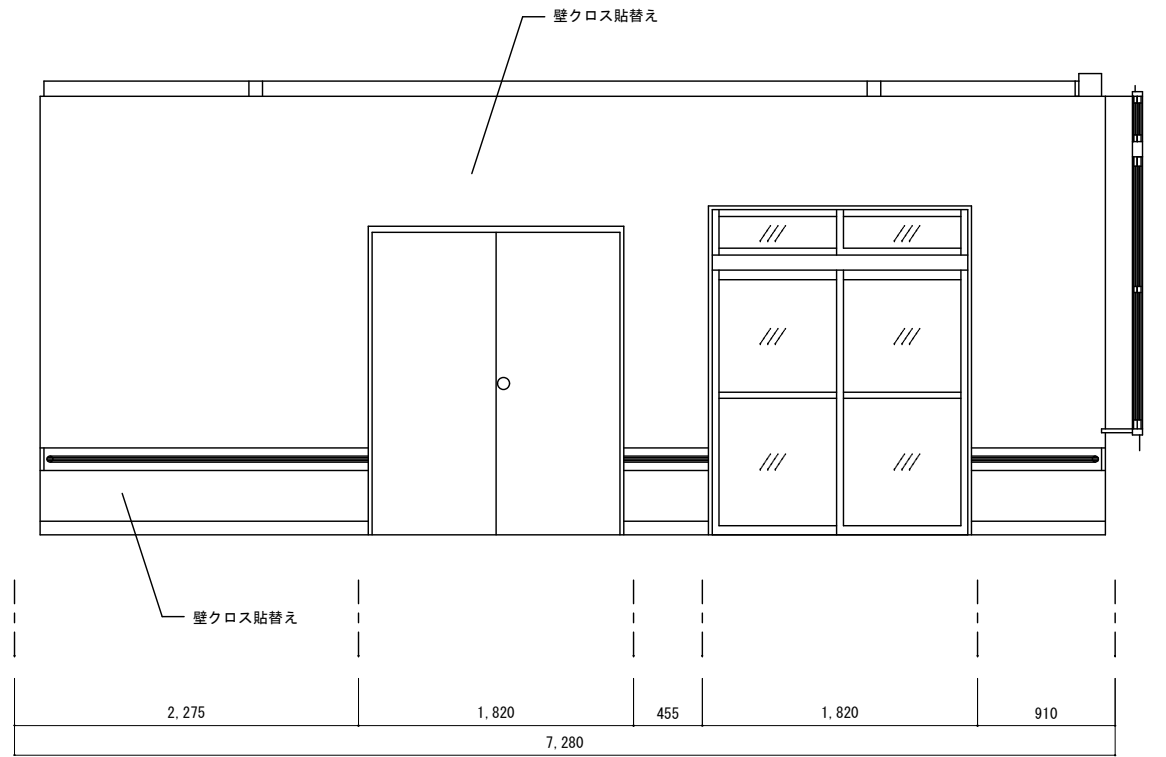
既存平面図 S=/100



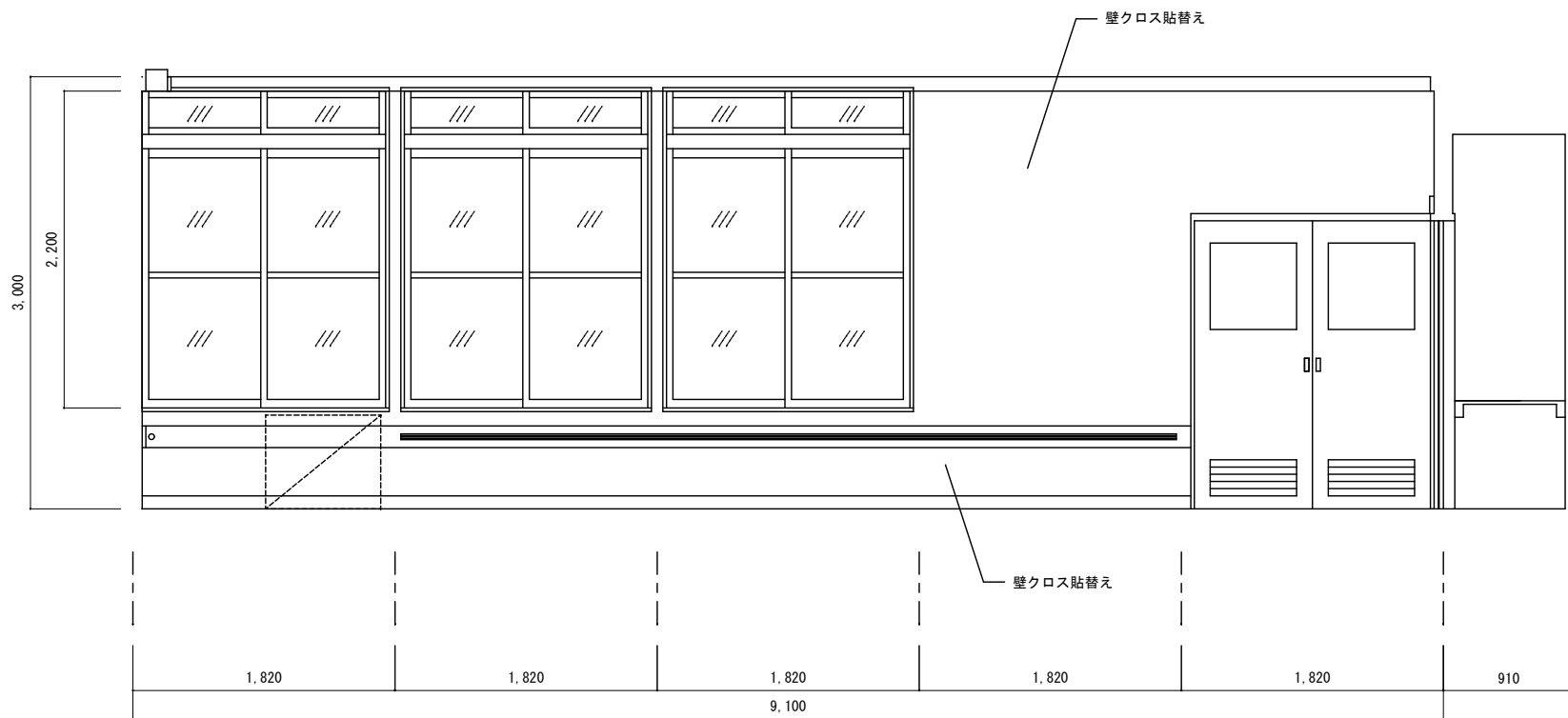
改修平面図 S=/100



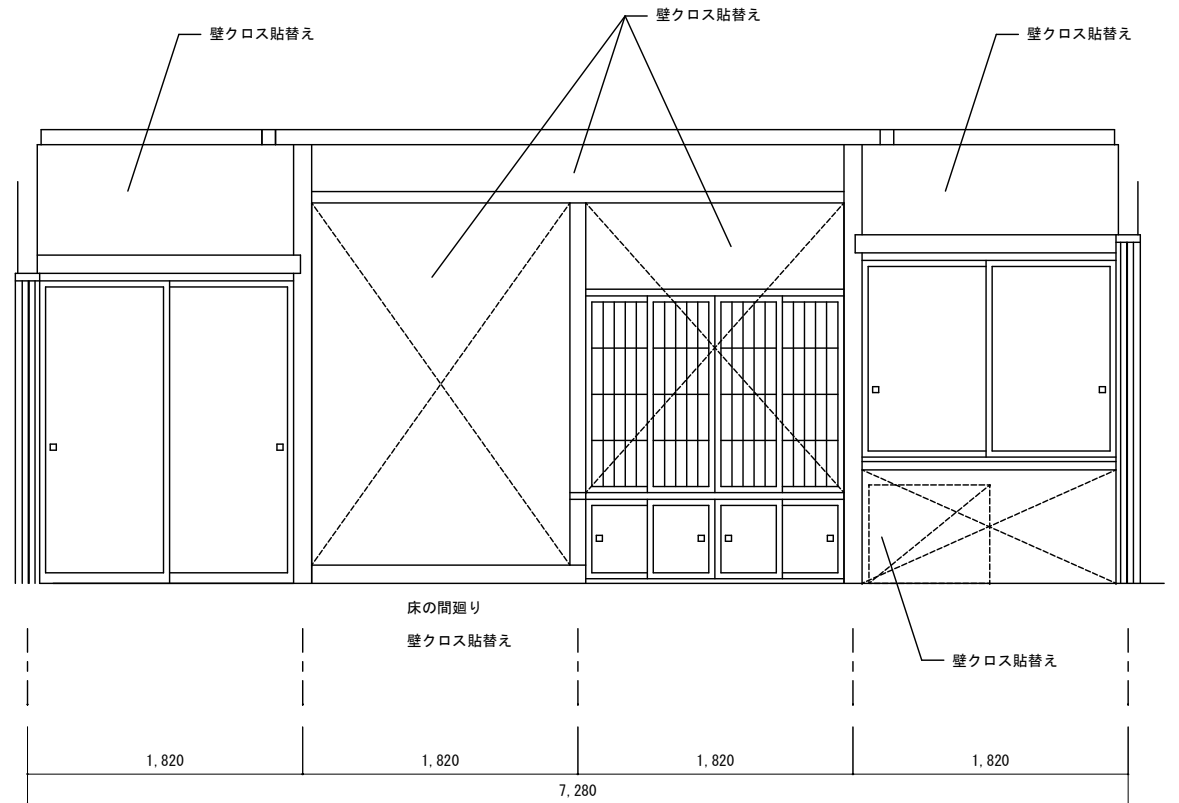
北面



東面

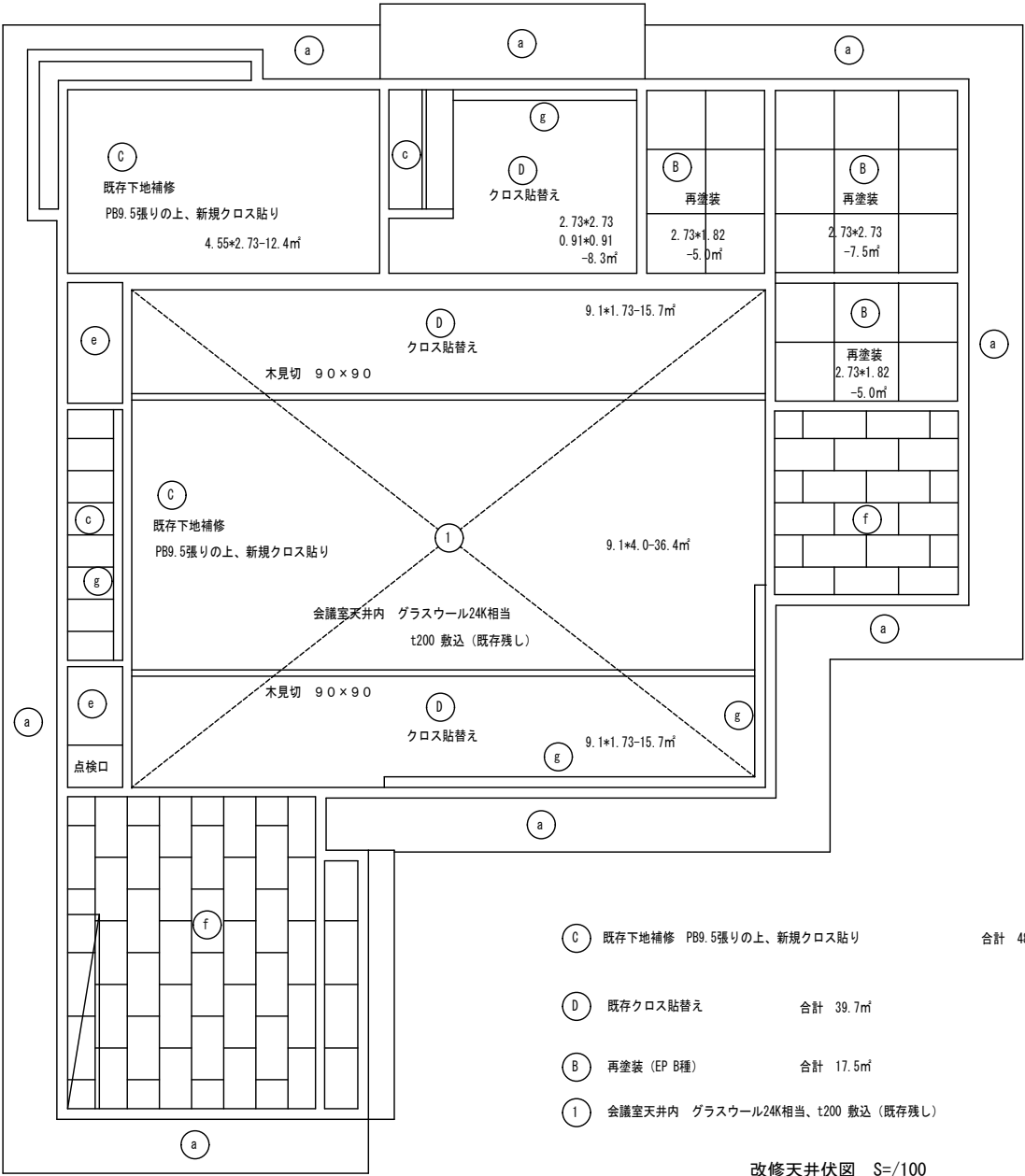
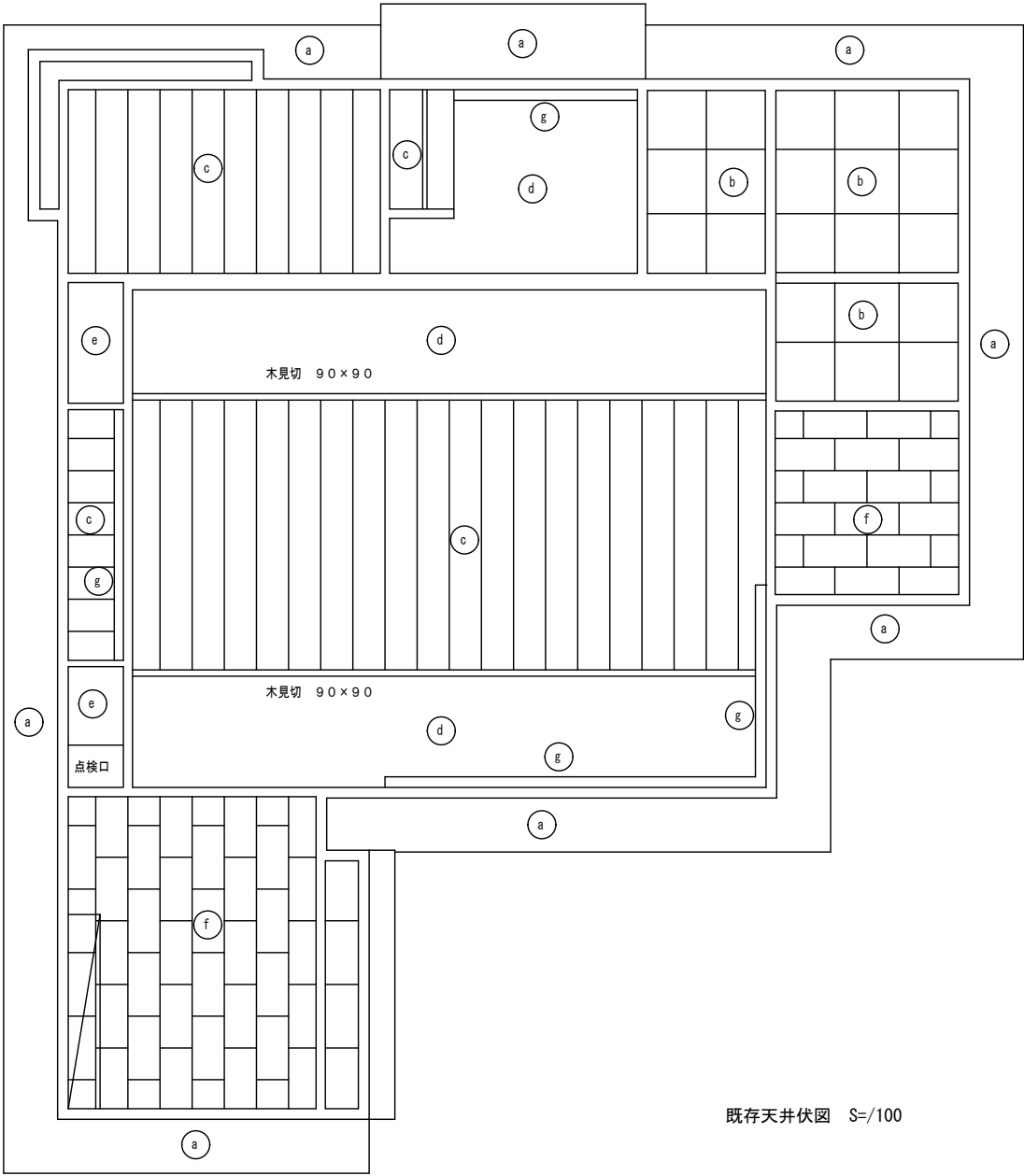


南面



西面

会議室 壁-クロス貼替え



- (C) 既存下地補修 PB9.5張りの上、新規クロス貼り 合計 48.8㎡
- (D) 既存クロス貼替え 合計 39.7㎡
- (B) 再塗装 (EP B種) 合計 17.5㎡
- (I) 会議室天井内 グラスウール24K相当、t200 敷込 (既存残し)

| 凡 例 |                   |
|-----|-------------------|
| (a) | フレキシブルボードt6 リシン吹付 |
| (b) | ケイカル板t6 リシン吹付     |
| (c) | 木目化粧PBt9 張        |
| (d) | PBt9 クロス張         |
| (e) | ラワン合板t2.7 張       |
| (f) | ジブトーン t9張         |
| (g) | 木製カーテン・スクリーン BOX  |



|       |                                                                                                                                |                                                                                                                                 |                                                                                                                                  |                                                                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 記号・数量 | <div><div><div>AW</div><div>3</div></div> × 3 会議室</div>                                                                        | <div><div><div>AW</div><div>4</div></div> × 1 会議室</div>                                                                         | <div><div><div>AW</div><div>5</div></div> × 1 会議室</div>                                                                          | <div><div><div>OD</div><div>1</div></div> × 1 玄関</div>                                                                   |
| 姿図    | <div>既存建具</div> <div></div>                   | <div>既存建具</div> <div></div>                   | <div>既存建具</div> <div></div>                   | <div>既存建具<br/>修理 補修</div> <div></div> |
| 形式・見込 | ランマ付 引き違い窓 外付 70                                                                                                               | ランマ付 引き違い窓 外付 70                                                                                                                | 引き違い窓 外付 68                                                                                                                      | 自動ドア 1 0 0                                                                                                               |
| 材料・仕上 | アルミカラー                                                                                                                         | アルミカラー                                                                                                                          | アルミカラー                                                                                                                           | アルミカラー                                                                                                                   |
| 硝子    | フロートガラス t5 / ランマ フロートガラス t3                                                                                                    | フロートガラス t5 / ランマ フロートガラス t3                                                                                                     | フロートガラス t5                                                                                                                       | ランマ フロートガラスt3 FIXドア プロテックス t6.8                                                                                          |
| 金物    | クレセント                                                                                                                          | クレセント                                                                                                                           | クレセント                                                                                                                            | エンジン レーダースイッチ ステンレスレール 施錠                                                                                                |
|       |                                                                                                                                |                                                                                                                                 |                                                                                                                                  | 既存シリンダー錠交換及び新設（同一KEY）                                                                                                    |
| 備考    | 網戸 ランマ 開閉用オペレーター                                                                                                               | 網戸                                                                                                                              | 網戸                                                                                                                               | 既存装置撤去・交換                                                                                                                |
| 記号・数量 | <div><div><div>AW</div><div>3a</div></div> × 3 会議室</div>                                                                       | <div><div><div>AW</div><div>4a</div></div> × 1 会議室</div>                                                                        | <div><div><div>AW</div><div>5a</div></div> × 1 会議室</div>                                                                         |                                                                                                                          |
| 姿図    | <div>改修建具</div> <div></div> <div>内窓取付</div> | <div>改修建具</div> <div></div> <div>内窓取付</div> | <div>改修建具</div> <div></div> <div>内窓取付</div> |                                                                                                                          |
| 形式・見込 | インナーサッシュ 70                                                                                                                    | インナーサッシュ 70                                                                                                                     | 格子付 インナーサッシュ 70                                                                                                                  |                                                                                                                          |
| 材料・仕上 | 樹脂                                                                                                                             | 樹脂                                                                                                                              | 樹脂                                                                                                                               |                                                                                                                          |
| 硝子    | フロート複層ガラス ア3+G12+3mm / LOW-EG                                                                                                  | フロート複層ガラス ア3+G12+3mm / LOW-EG                                                                                                   | フロート複層ガラス ア3+G12+3mm / LOW-EG                                                                                                    |                                                                                                                          |
| 金物    | 規格金物一式                                                                                                                         | 規格金物一式                                                                                                                          | 規格金物一式                                                                                                                           |                                                                                                                          |
|       |                                                                                                                                |                                                                                                                                 | ブリーツブラインド                                                                                                                        |                                                                                                                          |
| 備考    | 開閉用オペレーター撤去処分                                                                                                                  |                                                                                                                                 | 既存障子撤去処分                                                                                                                         |                                                                                                                          |